指定管理者による公の施設の管理運営状況(令和4年度分)

施設名	堀原運動公園
施設所管課	教育庁学校教育部保健体育課
指定管理者	公益財団法人茨城県スポーツ協会
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日

1 施設の概要

1 NERX 1910	· / M.女			
施設所在地	水戸市新原2-11-1			
施設の概要	総面積 125, 428 m ²			
	・野球場 22,899 m ²			
	・武道館			
	(1)大道場 1,243 m²			
	(2)錬成道場 柔道場 581 m²			
	剣道場 563 m ²			
	(3) 弓道場 612 ㎡ (近的 347 ㎡、遠的 265 ㎡)			
	(4)会議室 115 m²			
	・競技場 19,200 m ²			
	・自由広場 11,850 m ²			
業務内容	・施設の利用の許可に関する業務			
	・施設の許可の取り消し、効力の停止及び条件の変更に関する業務			
	・施設の維持管理に関する業務			
	・施設の利用の促進に関する業務			
	・スポーツの振興に必要な事業に関する業務			
	・県が管理上必要と認める業務			

2 職員の状況

常勤職員:	12人	非常勤職員:	0人	合計: 12人
-------	-----	--------	----	---------

3 収支状況

令和4年度 (単位:円)

47	八	支	: 出
指定管理料	123, 089, 000	人件費(給与等)	45, 960, 344
利用料収入	16, 545, 247	光熱水費	24, 963, 371
自主事業収入等	4, 351, 900	租税公課等	3, 723, 047
その他 (利息等)	3, 412, 760	自主事業費	4, 494, 936
		その他 (事務費・修繕費等)	76, 128, 866
収入合計	147, 398, 907	支出合計	155, 270, 564

4 利用状況

4 11/11/11/11			
	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績
①年間利用日数(日)	347	347	347
②年間利用者数(人)	180, 697	107, 085	76, 155
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	16, 545, 247	13, 626, 695	9, 769, 460

5 サービス向上に向けた取組み

- (1) 運動公園の平等な利用者サービスについては、以下のとおり実施した。
 - なお、公園の施設利用にあたっては、広く県民が使用できるよう配慮し、利用者の確保に努めた。
- ア 利用者増を図るため、リーフレットの作成やホームページでの情報掲載等により、各種情報 を県民に提供した。
- イ 全国・関東大会等の大規模な大会については、円滑に開催できるよう前年度 12 月~1 月に 競技団体等から提出される利用計画や 2 月に行う調整会議により日程を調整することで、会場 の確保に配慮した。
- ウ 通常の利用については、従来、利用日の1ヶ月前から窓口や電話及びインターネットでの申 し込み(先着順)で対応していたが、コロナ禍により大規模大会の開催延期が相次いだため、 個人の利用については、半月分毎に予約を受け付けるようにし、大規模大会の会場確保に配慮 した。

また、弓道場等の定期利用団体については、円滑に利用できるよう事前に月間利用計画を作成し、利用しやすいよう配慮した。

- エ 施設利用を希望している県民に対して円滑に会場が確保できるよう、大規模な協議大会等の 日時をホームページや園内看板に掲出し、施設の利用(空き)情報を提供することにより利用機 会の確保に努めた。
- (2) 質の高い利用者サービスについては、以下のとおり実施した。
- ア 利用者ニーズの把握

公園内利用者からの要望や施設に関する意見、アンケート等をとおして利用者ニーズの把握 に努めた。

イ 各競技団体との連携

各競技団体との密接な連携により、県民のスポーツ・レクリエーション活動を推進するとと もに武道に親しむことができるよう武道教室等を実施した。

ウ 生涯スポーツの実施

有資格者による質の高いスポーツ教室として、リフレッシュヨガ教室、ボディーメイク教室、 気功体操教室、ジョギング&健康ストレッチ教室、親子リズムダンス教室、ジュニアランニン グ教室を実施した。

エ 利用者の利便性

飲料水や栄養補助食品等の自動販売機を園内に設置し、利用者への利便性の向上に努めた。

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

○実施方法

利用者に対してアンケートを実施した。

○調査結果

①開館日·開館時間

大いに満足 32.1%、満足 42.7%、ふつう 22.7%、不満 2.0%、大いに不満 0.5%

②職員・スタッフの応対

大いに満足 34.0%、満足 41.3%、ふつう 23.2%、不満 1.0%、大いに不満 0.5%

③施設の清潔さ

大いに満足 25.8%、満足 43.9%、ふつう 26.1%、不満 3.5%、大いに不満 0.7%

④施設の利用しやすさ

大いに満足 29.7%、満足 40.3%、ふつう 25.3%、不満 2.7%、大いに不満 2.0%

⑤施設全体

大いに満足 25.6%、満足 42.5%、ふつう 29.9%、不満 1.0%、大いに不満 1.0%

○利用者からの意見等

【良い点】

・園内の植栽が良く手入れされている。

【悪い点】

・洋式トイレを整備してほしい。

【要望】

駐車場の整備。

○対応状況

・アンケート結果を職員に周知し、サービスの改善を図っている。

7 管理運営状況の評価

評価項目	宮状況の評価 事業計画	実績	自己	所管課
町 川 切 目	(管理指標)	(管理指標に対するコメント)	評価	評価
	設備保守点検は、事業計画等に照ら	職員による日常点検及び月1度の休		
	し適切か。	館日を活用した委託業者による法定	А	В
ı		点検等を実施した。		
	整理整頓・清掃が行き届いているか。	必要に応じ職員が整理整頓を行うと		
	(建物・植栽等)	ともに、清掃業者に委託し日常清	В	В
		掃・一斉清掃(休館日)を実施した。		
維持管理	破損箇所の修繕は適切か。	危険箇所については、使用中止や立		
		入禁止等の措置を講じ、利用者の安		
		全確保を図り、速やかに補修等を行		
		った。	А	A
		また、大規模であっても、応急の対		
		応が必要な場合については、県と協		
		議し、修繕を行った。		
	使用日数、使用時間等は守られてい	施設の利用状況は予約台帳を整備し		
	るか。	管理するとともに、利用時間を超え		
		ても退出しない利用者には注意喚起	В	В
		を行い、無断キャンセルが多い利用	D	<i>D</i>
		者には、利用制限も含め注意を行っ		
		ている。		
	予約・利用許可等、利用者への対応	施設の予約については、窓口、電話		
	は平等・公正に行われているか。	及びネット予約等を活用し、より多	Α	В
		くの県民に利用の機会を提供できる	11	Б
		よう配慮した。		
	創意工夫により、魅力ある自主事業	徹底したコロナ対策により、安心・		
施設運営	の実施等、施設の利用拡大やサービ	· · · · · - · · · · · · ·		
	スの向上が図られているか、	また、アンケート結果等を参考に、	А	В
		内容の見直しを行い、施設の利用拡		
		大やサービスの向上を図った。		
	利用者の要望を把握し、運営に反映	利用者アンケートを実施し、利用者		
	させ、満足度を高めているか。	のニーズに沿うよう各教室の充実に		
		努めた。		
		また、施設設備の改善要望について	В	A
		も、要望を反映した修繕等を行い、		
		大規模改修を伴うものについては、		
		必要性緊急性を勘案し、県に予算要		
		望を行った。		
	職員は適切に配置されているか。	所長・臨職を除く9名で早番・遅番	_	_
		を交代するなど、工夫した配置を行	В	В
		った。		
運営体制	要望、苦情等への対応は迅速かつ適	要望については、アンケートの結果		
	切か。県へ報告しているか。	を施設運営に反映するよう配慮する	£	5
		ともに、苦情等には迅速かつ適正に	В	В
		対応し、必要に応じ県へ報告を行っ		
		t.		

	東北 巛字炊 取み味に供きた仕場	ウ入笠田コー マュ 叶巛 サウー		
	事故・災害等、緊急時に備えた体制	安全管理マニュアル、防災対応マニ	ъ	. D
	は確保されているか。	ュアル等を整備するとともに、年2	В	В
		回の防災訓練を実施した。		
	県、その他関係機関との連携は取れ	事業実施の際は、各武道連盟、競技		
	ているか。	団体と連携を密にとりながら、事業	В	В
		運営の充実を図った。		
	利用者数の状況は、計画を達成でき	コロナ禍からの回復途中であった		
	ているか。	が、前年度を上回る利用者数があっ	В	В
利用状況		た。		
	施設の稼働率は、事業計画に照らし	利用促進に努め、稼働率は適当な水	В	В
	て適当な水準にあるか。	準を維持した。	Ь	D
	収支計画が適正に執行されている	支出の削減に努めたが、光熱費の高		
収支状況	か。	騰や応急的な修繕対応などにより、	В	В
		収支は赤字となった。		
	経費削減に向けた取組みがされてい	光熱水費の節約や消耗品等の無駄遣		
	るか。	いを避けるなど、支出を抑えるよう	В	В
		に努めた。		

【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価

- ・施設の特徴を活かした事業を実施し、スポーツの振興が図られている。
- ・利用料収入の減少を補うため、イベント会場としての利用増に努め、収益の確保を図った。
- ・総合的に適正であると評価する。
- ※ ・実績(管理指標に対するコメント)欄については、指定管理者が記入する。
 - ・総合評価欄については、所管課が記入する。
 - ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
В	事業計画どおりの成果があったもの
С	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの